

## 守ってほしいこと

### ◆時間表記

時間の行き違いを避けるため、24時間表記を使ってください。  
日本では24時間表記が標準なので、「9時」は「朝の9時」を示します。  
「夜の9時」を示したい場合は、「21時」と伝えてください。

### ◆叱らないで説明する

生徒によっては、毎回宿題をしてこなかったり、  
「こうしたほうがいいですよ」とアドバイスしても  
そのとおりにしてくれない生徒もたくさんいます。  
そんな時、もどかしくてイライラしてしまう気持ちはとてもよくわかります。  
ですが、そういう時には、「叱る」のではなく「説明」してあげてください。  
「どうしてそれが必要なのか」を知らない生徒がほとんどです。  
講師が当然に知っていることを知らないのが生徒です。  
「丁寧な説明」を重ねていけば、必ずわかってくれます。  
もしどうしても困った時は、叱る前に、事務局に連絡をください。  
事務局から説明をさせていただきます。

### ◆生徒の希望を否定しない

基本的には生徒の希望や目標を否定しないでください。  
「それは無理」と思った場合はまず事務局に相談してください。  
生徒が無理な要望を出してくるのは、ただ単に「知識が無いだけ」のことが多いです。  
そこを指導するのが我々の仕事です。

例)

「文法の勉強がつまらないから会話だけしたい」

- × 会話をするには文法と語彙が無さすぎるから、先に文法と語彙を勉強しましょう
- 会話をするには文法と語彙という土台が必要なので、文法も勉強しながら、  
会話練習も一緒にしていきましょう。  
文法の勉強は楽しくできるようお手伝いします。  
会話の時間も多くとるようにします。

「韓国人みたいな発音になりたい」

- × 今のままで十分通じてるし上手です。
- 今も十分通じてるし上手ですが、もっと自然な発音になるよう  
一緒に勉強していきましょう。

「会話だけでできればいいからTOPIKは受けたくない」

- × そうですか
- 実は「会話力向上」に、TOPIK受験は非常に有効な学習手段の一つなんです。なぜなら、会話に必要な文法や語彙を体系的に総整理できることと、「聞き取り問題」には会話に必要な「正しい発音の習得」が必要不可欠であることから、結果的に会話力の向上につながるからです。今まで勉強していた「点」と「点」が「線」になって理解が深まるのを体感できますよ。

だから、「会話」だけが目的の方にもTOPIKの受験を積極的にお勧めします。

「必須ではないが、やると一気に伸びる選択肢」として、頭の片隅に置いておくといいと思います。

「聞き取りができるようにしてほしい」

- × 発音が悪いから無理です
- 聞き取りができない = 正しい発音できていないことがほとんどです。「自分が発音できない言葉は聞き取ることができない」のです。だから、一緒に正しい発音を習得していきましょう。

「話せればいから文字は覚えたくない」

- × 文字を覚えないと話せません → 即離脱します
- × みんなやっています → 反発します
- × 効率が悪いです → やる気を削ぎます
- わかります。話せるようになりたいですよね。実際、会話って一番楽しいですし、それが目的ですよね。ただ、実際に会話ができるようになっていく方って、文字を読める方がほとんどなんです。完全に耳だけで覚えようとする、
  - ・応用ができない
  - ・同じことしか話せない・聞けないということになります。逆に言うと、ハングルって1~2日で読めるようになるので、そこだけサクッと覚えてしまうと、会話の伸びが一気に楽になります。全部覚える必要はなくて、“読めるだけ”でOKです。“文字を覚えるための勉強”ではなくて、“話せるようになるためのショートカット”だと思っていただけるといいです。

「3カ月でTOPIK6級をとりたい」

- × 今の実力では3カ月では無理です
- 現在の実力だと、3カ月で確実なのは○級です。  
○級を確実に合格できるように学習するとともに、  
少しでも6級に近づけるよう、一緒にがんばっていきましょう。  
→学習計画を提示して目標までの道筋を教えてあげる